

テーマ

「注意欠如/多動性障害(ADHD)の身体性精神医学」

講演者： 北海道大学大学院理学院 科学基礎論研究室
修士課程学生・医師・ボディーワーカー
河野 友勝 氏

日時： 令和5年1月16日(月) 14:00~15:30

場所： 知識科学系研究棟Ⅱ棟4階コラボレーション
ルーム1

講演要旨：

注意欠如/多動性障害(ADHD)は、伝統的に「脳(機能)の障害」としてモデル化されてきて、その病態や治療において「脳以外の身体」や「ADHD者の身体経験」が果たしているはずの役割は大部分が捨象されてきた。本講演では、いわば「身体性精神医学」と呼びうるような、身体性を重視する哲学的立場からADHDの病態をモデル化し、更にその治療についても考えてゆきたい。

講演者略歴：

1990年大阪生まれ。2015年近畿大学医学部医学科卒業。2015年4月から2018年3月まで宮城県内の急性期総合病院で内科医としての初歩的な現場訓練を受けたのち、科学哲学を専攻するべく2018年10月より北海道大学大学院理学院(科学基礎論研究室)の修士課程に進学(社会人長期履修制度を利用)。2020年よりコロナ対策禍において大学院授業がオンライン化され脱身体化されたことをきっかけに、ヒトの認知において自己や他者の身体の果たす大きな役割に目を開かれ、研究テーマを「身体性」に大幅に変更し、同時期より実践面でも「ボディーワーク」と呼ばれる心理療法と身体運動との接点に位置するような諸技法を学びはじめ、現在に至る。2023年3月北海道大学大学院理学院修士課程修了予定、同年4月より同博士課程に進学予定。